【資料２】

令和２年度

大槌町総合計画行政評価書

令和３年８月11日（水）

大　槌　町

第１章	産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり	第１節(施策)	おおつちの自然を活かし、継承する一次産業の実現
施策の展望	町の基幹産業として、魅力的な農林水産業の確立と新規就業者の確保及び経営の安定を目指します。		

	主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）項目	単位	目標値 ()…基準値 数値	目標値 目標方向	令和元年度 数値	令和元年度 達成状況	令和2年度 数値	令和2年度 達成状況
1	生産性の向上及び安定収量の確保	1	農地高活用転換面積（累計）	ha	10 (5.2115)	↗	5.6115	↗	7.0646	↗
2	生産から、流通販売までの一貫したスキーム強化	2	大槌魚市場水揚額	千円/年	687,196 (367,172)	↗	111,078	↘	149,940	↘
3	第一次産業の担い手の確保・育成	3	第一次産業新規就業者数（累計）	人	12 (6)	↗	2	↘	4 (+2)	↘
4	森林、農地、漁場などの環境整備	4	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。・合計点14〜1点	A ・相当程度に貢献度が高い。・合計点11〜13点	B ・一定の貢献度が認められる。・合計点８〜10点	C ・貢献度が低い。・合計点５〜７点	D ・極めて貢献度が低い。・合計点９点以下
事業数	23 事業	0 事業	21 事業	1 事業	1 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。・合計点14〜1点	A ・相当程度に貢献度が高い。・合計点11〜13点	B ・一定の貢献度が認められる。・合計点８〜10点	C ・貢献度が低い。・合計点５〜７点	D ・極めて貢献度が低い。・合計点９点以下
事業数	28 事業	0 事業	20 事業	7 事業	1 事業	0 事業
前年度比	+5事業	±0	-1事業	+6事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	産業振興課	農産物等生産振興事業	A	農業者の生産活動及び農業の普及活動の推進を図るため、農業者団体等が所得確保のため行う**農産物の生産に要する経費に対して補助**します。	【目標指標１】 交付実績：18件（総額3,445千円）
2	産業振興課	いわて型野菜トップモデル産地創造事業	A	農家所得の確保・拡大を図るため、モデル経営体と連携し、水田等において高収益な野菜の作付けを拡大し、モデル経営体を核とした**新たな野菜産地の創造**を図ります。	ピーマン栽培用ハウス　５棟
3	産業振興課	鳥獣被害防止総合支援事業	A	ジビエ処理加工施設を町内に整備することにより、運搬に係る労務や運搬費及び処分費用の軽減が見込まれる。その結果、有害鳥獣捕獲が推進され、農作物の被害が軽減される。 また、施設では、持ち込まれた**シカを食肉等に商品化し販売**することで、地域資源として有効活用することができ、その商品を**特産品としてPR**することで、町の活性化につなげます。	・電気柵整備数　20ほ場 ・有害鳥獣捕獲数　ニホンジカ376頭 ・農作物被害状況調査の実施 （調査員による農家訪問）
4	産業振興課	美味しい大槌消費拡大事業	A	町産品の消費拡大を図るため産直施設等において、町産農林水産物を加工した**試食品の提供、生産物や生産者のPRボードの掲示、レシピ提供、学校給食への提供**を行います。	学校給食へ地場産品を提供しました。
5	産業振興課	町有林森林認証取得事業	A	森林管理協議会（FSC：forest stewardship council）の**国際森林認証の取得**を行います。	釜石地方森林組合との連携
6	産業振興課	大槌町地域産業イノベーション事業	A	新産業創出のため、農林水産業生産物の養殖栽培実証を行い、新規種目や生産量の拡大を図ると共に、これら生産物を基に新たな加工品の開発や付加価値化を促進し、**一次生産から二次加工、販売までの一体的な産業の活性化**を図ります。	【目標指標１・２・３】 新産業創出センター（Ａ棟）年間利用実績 739件　3,077名
7	産業振興課	新規就農者総合支援事業	A	将来に向けて持続可能な力強い農業を実現するため、新規就農者又は就農に向けて研修等に取組む者の支援を行い、町内における**新規就農者の育成と早期定着**を図り、農業の活性化と農業振興につなげます。	【目標指標３】 実績：新規就農者１名(目標値は年１名)
8	産業振興課	磯焼け対策事業	A	磯根資源の回復のため、**調査、ウニの食害対策、海藻類種苗袋の設置**を進めます。	【目標指標２】 藻場の回復調査（２箇所）

第１章	産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり	第２節(施策)	働きやすく、骨太なおおつちの商工業の推進
施策の展望	地域経済の好循環を一層拡大し、産業の生産性向上や販路拡大、町民の所得向上を目指します。 また、新事業育成や企業の促進、担い手確保により雇用のばの確保を目指します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値　()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	商工業の経営基盤強化	1	一人当たりの市町民所得の県内順位	位	13 (15)	↘	11	↘	11	↘
2	働き手の確保に向けた雇用対策の推進	2	釜石・大槌地域への新卒者就職率	%	60 (55.2)	↗	55.4	↗	60.5	↗
3	人材育成と事業承継支援（略）	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
4	企業誘致の促進と生産拠点の強化	4	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
5	産官学連携による新事業育成の支援	5	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	12 事業	2 事業	5 事業	4 事業	0 事業	1 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	10 事業	1 事業	4 事業	3 事業	2 事業	0 事業
前年度比	-2事業	-1事業	-1事業	-1事業	+2事業	-1事業

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	産業振興課	おおちゃん融資制度事業	A	町内中小企業者の経営の安定化を図るため、指定金融機関から受けた融資に対し、町が**利子の一部又は全額、信用保証料の全額を補助**します。 ［指定金融機関］ ア　株式会社岩手銀行大槌支店 イ　株式会社北日本銀行大槌支店 ウ　株式会社東北銀行釜石支店 エ　宮古信用金庫大渡支店	交付実績：141件（総額16,233千円）
2	産業振興課	中小企業被災資産復旧費補助金交付事業	A	震災により被害を受けた**施設や設備と同程度のものを復旧するためにかかる経費**に対して県・町から対象経費の補助を行います。 対象経費　２分の１ 補助上限額　20,000千円／件	交付実績：４件（総額20,695千円）

第１章	産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり	第３節(施策)	おおつちらしい観光物産戦略の展開

施策の展望	海水浴を始めとした様々なアクティビティが楽しめる美しい海、先人から受け継がれてきた誇りある伝統文化、また、四季折々に色づく景観や「海の幸」「山の幸」が四季を通して数多く収穫される食など、大槌ならではの魅力を活かし、多くの方がまた訪れたくなる町を目指します。

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
			項目	単位	目標値　()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	海を活用したコンテンツの活用（略）	1	観光客入込数	人	130,000 (103,308)	↗	121,735	↗	84,425	↘
2	食のブランディング（略）	2	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
3	伝統芸能・文化による誘客推進（略）	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
4	景観を活用した周遊と魅力発信（略）	4	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
5	受入態勢整備とファン拡大（略）	5	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	11　事業	0　事業	6　事業	5　事業	0　事業	0　事業	事業数	16　事業	2　事業	4　事業	8　事業	1　事業	1　事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	+5事業	+2事業	-2事業	+3事業	+1事業	+1事業

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	産業振興課	おおつちの魅力発信強化事業	B	新たな特産品の開発や、消費者動向に合せた既存商品の改良などを行うことにより、より販売力・質の高い商品の生産を図ります。また、大槌町内で楽しめる**独自性の高い「食」**を提供することにより、近隣他市町村を含めた町外からの交流人口の拡大を図ります。これらの取組より、大槌町の知名度アップ（食のファンの拡大）、来町者（来店者）の増加、特産品を含めた町内生産物の売上量増加などを促進していきます。	おおつちまるっと　ひっつみ・おかずテイクアウトラリー（町内）1月17日開催
2	産業振興課	大槌ジビエソーシャルプロジェクト	S	ジビエ料理やジビエツアー等、ジビエ関連事業を多角展開し、町内のジビエ取扱い店舗と連携した**観光客誘致**及び**交流人口拡大**を図ります。	ジビエ事業に係る観光客数 実績：1,220名（目標は年1,000名）
3	産業振興課	自然公園保護事業	B	町と岩手県で、自然公園の保護及び適正な利用を目的に、自然公園保護管理員設置業務委託を締結し自然公園保護管理員は、大槌町自然公園内（シーニックライン「筋山」から「崎山」間、緑地公園内展望台、浪板海岸）の定期的な監視パトロールで**自然公園の保護**に努めます。	管理員　１人 活動日数　80日間
4	産業振興課	インバウンド事業	A	復興した町の姿を「復興ありがとうホストタウン」である台湾とサウジアラビアに発信し、これまでの支援への感謝を伝えるとともに、外国人来訪者を快く歓迎できる受入態勢を整備し、末永い国際交流の進展を図ります。	7月12日　おもてなし講演会 11月25日　台湾web会議 12月24日　台湾web会議 2月1日　台北國際動漫節出展 1月14日　サウジアラビアweb会議

第２章 健康でぬくもりのあるまちづくり

第１節(施策) 地域福祉の推進

施策の展望

町民誰もが、身近な地域社会で、年齢や性別、心身の障がいの有無等に関わらず、お互いの個性や尊厳を認め合い、必要な福祉サービス等を利用しながら、住民相互の支え合いや見守りなどにより、安心して生きがいを持って生活できる福祉コミュニティを目指します。また、生活上の課題を抱える方が、地域において自立した生活を送ることができるよう、住民やボランティア団体、関係機関、行政が、世代や分野を超えてつながり、地域の様々な資源を活かしながら、切れ目のない支援を包括的に実施する体制の構築を目指します。

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	福祉サービスの充実	1	自治会・町内会等の組織数	団体	28 (21)	↗	22	↗	28	↗
2	地域福祉を支える体制づくり	2	民生委員・児童委員充足率	%	100 (73)	↗	78	↗	83	↗
3	＊＊＊	3	ボランティア登録者数	人	80 (36)	↗	37	↗	43	↗

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。・合計点９点以下
事業数	1 事業	0 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。・合計点９点以下
事業数	1 事業	0 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業
前年度比	±0	±0	±0	±0	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	健康福祉課	協働による包括的支援体制の充実	A	町と、地域の住民や、民生委員・児童委員、社会福祉協議会をはじめとする関係機関が、それぞれの役割分担のもとで把握した地域課題を共有し、分野を超えて包括的に支援するための対応方法について協議する場を設置します。	民生委員・児童委員充足率 83%（前年度78%）

第２章	健康でぬくもりのあるまちづくり	第２節(施策)	子育て環境の充実
施策の展望	子どもの幸せを第一に考え、子育てに関わる全ての人が安心して子育てができるよう、子どもの育ちや子育てを支援する取組の充実を図り、豊かな自然環境や、地域のつながりの中で、次代の親となる子どもたちが「ふるさと大槌で子育てをしたい」と思えるような子育て環境を目指します。		

	主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの） 項目	単位	目標値 ()…基準値 数値	目標方向	令和元年度 数値	令和元年度 達成状況	令和2年度 数値	令和2年度 達成状況
1	子育て環境の充実	1	児童数（11歳以下）	人	938 (938)	➔	935	↘	881	↘
2	安心して出産・子育てができるための支援の充実	2	待機児童数（４月現在）	人	0 （2）	↘	0	↘	0	↘

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度 評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。・合計点９点以下
事業数	21 事業	4 事業	12 事業	2 事業	1 事業	2 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度 評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。・合計点９点以下
事業数	25 事業	1 事業	18 事業	4 事業	2 事業	0 事業
前年度比	+4事業	-3事業	+6事業	+2事業	+1事業	-2事業

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	町民課	子ども妊産婦及びひとり親家庭医療費給付事業	A	子ども、妊産婦及びひとり親家庭の適正な医療を確保することにより、心身の健康を保持するとともに生活の安定を図るため医療費の一部を給付するものです。	令和２年８月より、給付対象者を中学生まで拡大しました。 医療給付実績：14,307千円
2	健康福祉課	保育士等確保支援事業	A	保育士等の確保を支援し保育環境の充実を図るため、民間保育所等が保育士等の確保に資する事業等を行う場合に要する経費に対し補助します。保育士等給与加算（採用後３年間の給与を、４年目と同額まで引き上げるための給与加算）	交付実績：４施設 園児数に対して必要な保育士数を確保できており、待機児童数も０です。

第２章	健康でぬくもりのあるまちづくり	第３節(施策)	健康づくりの推進
施策の展望	全ての町民が、生涯を通じて心身ともに健康で質の高い生活を送ることができるよう、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」の延伸を目指します。また、生活習慣病を予防するため、町民一人ひとりが自らの健康を自覚し、健康的な生活習慣を確立するとともに、地域全体で町民の健康づくりを支援できる体制を構築します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	健康寿命の延伸	1	標準化死亡比（総死亡）	–	105.7 (113.9)	↘	139.2	↗	137	↗
2	こころの健康づくりの推進	2	要介護２以上の認定率（5年平均）	%	11 (11)	→	11	→	11	→

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14~1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11~13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８~10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５~７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14~1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11~13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８~10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５~７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	15 事業	6 事業	6 事業	3 事業	0 事業	0 事業	事業数	16 事業	0 事業	7 事業	6 事業	3 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	+1事業	-6事業	+1事業	+3事業	+3事業	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	健康福祉課	（仮称）大槌町保健センター整備事業	A	東日本大震災津波で被災した保健センターを建設します。	令和３年３月に完成し、４月から利用を開始しました。
2	健康福祉課	健康相談事業	A	生活習慣病予防を重点課題として、40歳以上の町民に対し、保健師・管理栄養士による健康講話や調理実習を含めた栄養指導等を行い、家庭における健康管理を図ります。	健康相談８回、相談者数22名 健康課題の解決に向けた促しを行いました。
3	健康福祉課	健康教育事業	B	生活習慣病の予防及び健康の保持増進を図るため、40歳以上の町民に対し、医師や保健師、管理栄養士等による講話、運動指導や調理実習を通して具体的な実践方法の普及を図ります。	生活習慣病及び重症化予防のため、職域の健康教育を２回実施しました。

第２章	健康でぬくもりのあるまちづくり	第４節(施策)	高齢者支援の推進
施策の展望	高齢者の心身の健康保持と生活の安定が確保され、その家族も含めて、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けていくことができる環境を目指します。 また、多様な主体間の情報共有及び連携･協働によって、地域の住民による支え合い体制を構築します。		

主な取り組み		目標指標　（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
			項目	単位	目標値　()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	健康増進・介護予防・社会参加活動の推進	1	大槌町高齢者等見守りネットワーク協定締結事業者数	事業者	60 (50)	↗	62	↗	55	↗
2	地域で安心して暮らし続けるための環境の充実	2	認知症サポーターの育成数	人	2,800 (1,877)	↗	2,246	↗	2,416	↗
3	認知症施策の総合的な推進	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
4	地域で支えあう仕組みづくり	4	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	30　事業	15　事業	9　事業	6　事業	0　事業	0　事業	事業数	28　事業	9　事業	7　事業	10　事業	2　事業	0　事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	-2事業	-6事業	-2事業	+4事業	+2事業	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	健康福祉課	地域リハビリテーション活動支援事業	A	リハビリテーションに関する専門的知見を有する釜石リハビリテーション協会より、各種介護予防教室等で技術的助言をいただき、また運動機能向上に向けた運動プログラムの作成を委託することで、介護予防の正しい運動について普及啓発しています。	専門講師を招き、自宅で１人でもできる運動の指導について、町民を対象に行いました。
2	健康福祉課	成年後見センター委託事業	S	高齢化率の上昇が見込まれており、高齢者独居、成年後見の利用が必要になる方が増加することが予想され、制度に係る相談支援体制の強化の為、制度に特化した体制を整備する必要があること、また、成年後見人等を担う人材が不足していることから、市民（町民）後見人等の担い手を育成の必要性が高まっていることから、専門性に特化した機関として成年後見センターを釜石市・遠野市・大槌町の合同で設立し、釜石社協に業務を委託します。	センター利用者数：10人 利用者数は新型コロナウイルスの影響で昨年より減少しました。後見人育成の養成講座を実施しました。
3	健康福祉課	老人保護措置費	S	65歳以上の高齢者で、在宅において日常生活を営むのに支障があるが、やむを得ない事由（要介護認定を受けられないことが見込まれる場合、高齢者虐待が疑われる場合等）により、介護保険による介護福祉施設サービスを利用することが著しく困難であると認められる場合、最終的な手段として養護老人ホームに入所を委託し、高齢者の福祉を図ります。	措置者数：11人
4	健康福祉課	認知症サポーター養成事業	B	地域の人々が認知症について理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る地域の応援者となれるよう、国・県が主催する「キャラバンメイト養成研修」を受講した講師が、養成講座基本カリキュラムの沿って研修を行い、町民参加による安心して暮らせるまちづくりの取組みに繋げられるようにすること、及び認知症の人が尊厳を持って地域で暮らし続けられるように支援するサポーターを要請します。また養成講座修了者にはサポーターの証となるオレンジリングを交付します。	認知症相談件数が増加傾向にある中、認知症を理解し、見守る応援者を養成する講座を開催しました。 受講者数150人（目標は年150人）
5	健康福祉課	認知症総合支援事業	A	認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で生活を続けていくために、地域における医療及び介護の連携強化及び町民への啓発活動、また、町内に居住する認知症が疑われる人、認知症の人及びその家族に対する支援体制の強化を図ります。	介入事例数：1人 介護者の負担軽減のため、適切な治療や家族支援を行いました。

第２章	健康でぬくもりのあるまちづくり	第５節(施策)	障がい福祉の推進

施策の展望	障がい者(児)が、住み慣れた地域で安心して生活し、主体的に社会参加しながら豊かで自立した暮らしを実現できる環境を目指します。 また、地域移行後も安心して生活できるよう、住民相互の理解と支え合いを促進し、障がいの有無に関わらず全ての町民にとって暮らしやすい地域社会の実現を目指します。※「障がい者(児)」は18歳以上の障がい者と18歳未満の障がい児の双方を対象としております。

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
			項目	単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	障がい者（児）の生活支援の充実	1	施設入所者数	人	46 (48)	↘	52	↗	46	↘
2	障がい者（児）の就労支援の充実	2	施設利用者の一般就労移行者数	人/年	6 (4)	↗	1	↘	1	↘

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	12 事業	2 事業	5 事業	2 事業	3 事業	0 事業	事業数	16 事業	4 事業	8 事業	3 事業	0 事業	1 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	+4事業	+2事業	+3事業	+1事業	-3事業	+1事業

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	町民課	重度心身障がい者医療費給付事業	A	一定の障がいを有する者の適正な医療を確保することにより、心身の健康を保持するとともに生活の安定を図るため医療費の一部を給付するものです。	医療給付費：18,989千円
2	健康福祉課	成年後見センター委託事業【再掲】	S	高齢化率の上昇が見込まれており、高齢者独居、成年後見の利用が必要になる方が増加することが予想され、制度に係る相談支援体制の強化の為、制度に特化した体制を整備する必要があること、また、成年後見人等を担う人材が不足していることから、市民（町民）後見人等の担い手を育成の必要性が高まっていることから、専門性に特化した機関として成年後見センターを釜石市・遠野市・大槌町の合同で設立し、釜石社協に業務を委託します。	センター利用者数：10人 利用者数は新型コロナウイルスの影響で昨年より減少しました。後見人育成の養成講座を実施しました。

第２章	健康でぬくもりのあるまちづくり	第６節(施策)	医療の充実

施策の展望	町民が安心して医療サービスを受けられるよう、地域医療体制の充実、休日及び夜間の救急医療体制の維持を目指します。 また、国民健康保険事業の安定化を図るため、被保険者および町民に対し、制度の理解啓発を促し適正な運用に努めます。

主な取り組み		目標指標　(各年度の方向は、基準値と比較したもの)								
			項目	単位	目標値　()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	地域医療の充実	1	休日・夜間救急診療体制対応日数	日	365 (365)	➜	366	➜	365	➜
2	医療保険制度等の充実	2	国民健康保険加入者一人当たり医療費	円/年	363,302 (433,501)	↘	446,749	↗	436,231	↗

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	6　事業	0　事業	5　事業	1　事業	0　事業	0　事業	事業数	5　事業	0　事業	4　事業	1　事業	0　事業	0　事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	-1事業	±0	-1事業	±0	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	健康福祉課	第2次救急医療施設事業負担金	A	圏域住民が安心して医療サービスを受けることができるよう、圏域の医療機関と連携を強化しながら、地域医療体制の充実に取り組みます。	休日・夜間救急診療対応日数　365日
2	健康福祉課	在宅当番・救急医療情報提供実施事業負担金	A	圏域住民が安心して医療サービスを受けることができるよう、圏域の医療機関等と連携を強化しながら、地域医療体制の充実に取り組みます。	

第３章　学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり

第１節(施策)　生涯を通してつながる学びの推進

施策の展望	幼保小中高の一貫した教育により、大槌の子どもたちの「豊かな育ち」と「確かな学び」を保障し、「チーム大槌」として学校・家庭・地域で創る教育の実現を目指します。 また、地域自ら主体となって行う、公民館及び集会施設活動等の推進による世代を超えたつながりある地域づくりの実践を目指します。

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
			項目	単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	幼保小中高と地域の一貫した教育の推進	1	自己肯定感を持った児童生徒の割合	%	77 (69)	↗	61	↘	74	↗
2	地域主体の公民館及び集会所等における活動等の推進による地域づくり	2	公民館（分館）活動等事業参加者数	人	5,000 (3,704)	↗	2,139	↘	2,241	↘

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	4　事業	1　事業	2　事業	1　事業	0　事業	0　事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	5　事業	0　事業	4　事業	1　事業	0　事業	0　事業
前年度比	+1事業	-1事業	+2事業	±0	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	学務課	学びつなぎプラン事業	A	義務教育の9年間だけでなく、高校教育、幼児教育を合わせた15年間で学びがつながるよう、教育目標の共有・連携を推進していきます。	漢字検定取得率　41％（9年生　5級）
2	学務課	大槌型一貫教育推進事業	A	町内の小中義務教育学校だけでなく高等学校及び幼稚園・保育園・こども園が地域と繋がり、**０～18歳まで一貫した教育を推進**します。	【目標指標１】 <ふるさと科> ・郷土芸能、ワカメ販売体験、新巻鮭作り、町の産業、自然・歴史の系統的学習 ・心の授業の実施（年３回） ・幼保小中高でふるさと科での交流について検討会を実施 ・幼保小中高でふるさと科・三陸みらい探究で防災紙芝居等の実践交流会を実施 ・中高で高校マイプロジェクトで自分プレゼンの交流を実施
3	学務課	教育用コンピュータ・インターネット接続事業	A	「ICT教育」と「大槌型教育」をベストミックスさせることで、児童生徒の情報活用能力やコミュニケーション能力を高めていくと共に、「つながりのある学び」を拡げ、大槌町の子どもたちの「豊かな育ち」と「確かな学び」の保障・実現を図ります。	児童生徒1人1台のiPad端末を整備しました。 ・校内ネットワーク環境整備 ・iPad端末730台購入 ・OA周辺機器購入
4	生涯学習課	公民館事業	A	主な公民館事業及び集会所活動としては、地区総会・報告会等、公民館大会事業、出前講座事業、地区運動会、ひょうたん島祭り、海岸清掃、盆踊り、新年会、定期環境整備活動（海岸清掃、草刈り等）、お茶っこの会、各種講演・講習会・企画展等事業、郷土芸能伝承活動、防災訓練等を実施します。	【目標指標２】 地域一斉清掃、子供との交流事業(遊び場提供)、お茶っこの会、花いっぱい運動、合同夜間パトロール、男の料理教室、しめ縄作り等

第３章	学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり	第２節(施策)	地域へと広がる魅力的な学びの場づくり
施策の展望	環境の変化に対応し、大槌の未来を担う人材を育むため、魅力ある高校教育の実現を目指します。 また、児童生徒が生き生きと充実した学校生活を送り、主体性のある豊かな学びを行うために、学校、家庭、地域、行政、子どもが一体となった学校運営や放課後に安心して過ごせる場所の確保を目指します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	地域を舞台とした魅力的な高校教育実現に向けた協働	1	大槌高校の学級数	学級/学年	2 （2）	→	2	→	2	→
2	学校・家庭・地域・行政・子どもが一体となった学校運営の実践	2	学校ボランティアの受入数	人	170 (158)	↗	157	↘	65	↘
3	＊＊＊	3	放課後学習施設登録児童数の割合	%	25 (22)	↗	19	↘	13.3	↘

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	5 事業	2 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業	事業数	5 事業	0 事業	4 事業	1 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	±0	-2事業	+1事業	+1事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	学務課	大槌高校魅力化推進事業	A	魅力的な高校づくりを県立高校と町が協働して行うことで、高校の安定的存続と人材の育成の実現を図ります。 大槌高校に専門の外部スタッフを複数名入れ、魅力化事業を推進します。 大槌高校のカリキュラムを見直し、大槌ならではの特色を活かした魅力あるカリキュラムづくりを支援します。	【目標指標１】 令和２年度入学者数：61人（目標50人） 留学生：個別相談会に14組、オープンスクールに5組が参加し、このうち１名が大槌高校へ入学しました（令和３年度入学）。
2	学務課	コミュニティ・スクール事業	A	保護者・地域・関係機関等の理解のもと、各学園が主体的に取り組むコミュニティ・スクールの推進を図ります。 学校運営協議会の実施（2学園、各年3回）、コミュニティ・スクール運営委員会の実施（年3回）、学校支援地域コーディネーター2名の配置、「ふるさと科」ボランティアの依頼、交通安全保安員の配置（4ヵ所）、ふるさと科アプリの活用	【目標指標２】 新型コロナウイルスの影響でふるさと科の回数及び参加人数が減となりました。 （前年度参加人数：157名）
3	学務課	放課後等学習支援活動事業	A	中高生が自習できる居場所づくりを進めると共に、小学生が放課後に進んで学習する習慣がつくよう、放課後団体間の連携を深めます。小中高校生が音楽プログラムを通して自信や尊厳を回復し、人生を切り開いていける「生きる力」を育みます。日々の子どもたちの様子を観察し、気づいたことを学校等と共有し、子どもに寄り沿った心のケアを行います。	【目標指標３】 新型コロナウイルスの影響により事業の縮小を余儀なくされたため、通学生徒数が前年度比で減となった。 （R1：4,731人→R2：3,370人）

第３章	学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり	第３節(施策)	町民の学習活動の推進

施策の展望	国際交流や町の伝統文化、芸能、文化財を理解し、スポーツや読書活動等に誰もが取組める環境を目指します。 また、将来の大槌町を担う、グローバルとローカルの両方の視点を備えたグローカルな人材の育成を目指します。

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	国際交流の促進	1	芸術文化・文化財事業参加者数（町民文化祭・郷土芸能祭等）	人/年	2,000 (1,411)	↗	1,592	↗	0	↘
2	芸術文化・スポーツ・読書活動等の推進と環境整備の充実	2	体育施設利用件数	件/年	4,000 (3,294)	↗	3,080	↘	2,414	↘
3	郷土の文化に触れる機会の充実（略）	3	図書館来館者数	人/年	15,875 (3,533)	↗	32,533	↗	20,362	↗
4	＊＊＊	4	図書貸出冊数	冊/年	19,373 (8,734)	↗	28,019	↗	28,864	↗

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	12 事業	1 事業	7 事業	3 事業	1 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	14 事業	0 事業	4 事業	9 事業	0 事業	1 事業
前年度比	+2事業	-1事業	-3事業	+6事業	-1事業	+1事業

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度 実施概要
1	生涯学習課	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会運営事業	A	競技大会の気運を高めるため、町民に配布する日章旗及びうちわの作成、誘導員等スタッフTシャツの購入、地元の音楽団体による合同演奏、郷土芸能、餅まきを実施します。	オリンピック・パラリンピックが令和３年度へ延期されたため、事業を繰越しました。
2	図書館	図書館事業	A	図書館の機能の充実と読書活動の推進を図ります。	【目標指標３・４】 新型コロナウイルス感染対策として、消毒機材等を整備しました。
3	生涯学習課	埋蔵文化財発掘事業	B	民間及び公的機関も含め、周知の埋蔵文化財包蔵地に係る法的手続き（遺跡有無の照会等の各種届出及び通知）の処理を行います。また、こうした手続きを経て、発掘調査の対象案件については、試掘及び確認、本調査等を実施し、調査終了後には出土遺物、遺構等の室内整理作業を行い、最終的な調査報告書を刊行します。なお、本件については復興事業に伴う発掘調査も同様の手続きを経て行います。	包蔵地照会の31件中、調査に該当するものは０件でした。

第３章	学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり	第４節(施策)	学ぶ環境の整備
施策の展望	通学及び学校生活において安全･安心に学ぶことのできる環境、生まれ育つ環境に左右されずに学ぶことのできる機会の保障を目指します。 また、これからの大槌教育を担い、大槌の児童生徒の教育に関わる全ての人にとって働きがいがあり、学び育つことのできる環境の実現を目指します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）									
			項目	単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度		
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	安全・安心な教育環境の整備	1	学校における校舎内内外の安全点検の回数	回/年	12 (12)	→	12	→	12	→	
2	教育関係者の意欲向上と人材育成に資する環境の整備	2	教員の職場環境に対する非ストレス度	%	85 (85)	↗	91	↗	94	↗	
3	学ぶことができる機会の保証（略）	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	15 事業	0 事業	15 事業	0 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	15 事業	1 事業	9 事業	5 事業	0 事業	0 事業
前年度比	±0	+1事業	-6事業	+5事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	学務課	大槌こどもセンター（OLAI）管理運営事業	B	放課後の子供達の安全かつ安心な活動拠点として大槌町こども教育センターの管理運営を行います。	利用登録者数42名 (利用対象：3～6学年267名)
2	学務課	子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業	B	保護者・地域・関係機関等の理解のもと、各学園が主体的に取り組むコミュニティ・スクールの推進を図ります。	ふるさと科ボランティア参加人数：65人
3	学務課	教職員等研修事業（コミュニティ・スクール推進協議会補助金）	B	小中一貫教育やコミュニティ・スクールについて、教職員が学ぶことができるよう、先進地視察研修や先進地から講師を招聘したり、通信機器を活用したりした学習会を開催します。	県外研修参加教員数　０人（新型コロナウイルス感染対策のため研修は実施せず、先進学校のオンライン講演を実施しました。）

第３章	学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり	第５節(施策)	震災伝承による防災文化の醸成
施策の展望	東日本大震災津波の記録を残し、教訓を学び、将来の町民に「防災文化」として伝承し、定着することを目指します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 （）…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	防災学習の推進	1	震災伝承展示物の更新	回/年	2 （1）	↗	3	↗	1	→
2	震災伝承に関する啓発活動の推進	2	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
3	「追悼・鎮魂」の想いの継承	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性（5点）②有効性（5点）③効率性（5点）の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	7 事業	0 事業	5 事業	2 事業	0 事業	0 事業	事業数	3 事業	0 事業	1 事業	1 事業	1 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	-4事業	±0	-4事業	-1事業	+1事業	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	協働地域づくり推進課	震災伝承啓発活動	C	震災の事実、体験、映像の展示を行うことにより、被害の状況、津波の恐ろしさ、復興への道のりなどを伝承し、復興に至った経緯や、町への多くの支援などにより現在の大槌町が成り立っていることなど、感謝の気持ちを町内外に発信します。	【目標指標１】 おしゃっちで、震災伝承に係る展示の更新を行いました。
2	協働地域づくり推進課	地区別慰霊施設整備事業	A	東日本大震災津波による犠牲者の鎮魂と震災津波の記憶を継承していくため、町方地区以外の９地域の復興協議会を対象とし、慰霊施設の整備に対する経費を助成します。	補助金を交付した協議会数９団体（累計） 令和２年度に実施したのは、１団体
3	協働地域づくり推進課	(仮称)鎮魂の森整備事業	B	「鎮魂の森」を東日本大震災津波の町全体の「追悼・鎮魂」の場とするとともに、町民が日常的に集い、憩い、交流の場として永く親しまれながら、森を育んでいくことを通じて、「被害と教訓」、「復興への想い・感謝」と「希望」を将来世代にメッセージとして伝え続けていくことができるような場として整備します。	(仮称)鎮魂の森の整備に向け、追悼の場検討を行っています。

第４章	安全性と快適性を高めるまちづくり	第１節(施策)	災害に強いまちづくりの推進
施策の展望	東日本大震災津波の体験や教訓を基に、地域における防災力を向上上し、災害や火災等に強い安心安全なまちを目指します。		

	主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）項目	単位	目標値（）…基準値 数値	目標方向	令和元年度 数値	令和元年度 達成状況	令和2年度 数値	令和2年度 達成状況
1	防災、減債対策の充実	1	地区防災計画作成組織数	組織	6 （3）	↗	3	→	3 (±0)	→
2	自主防災組織の活性化による地域防災力の向上	2	防災に関する研修実施数	回/年	20 (14)	↗	27	↗	5	↘
3	防災訓練の効果的な実施	3	防災訓練実施数	回/年	20 (11)	↗	20	↗	2	↘
4	消防防災体制の強化	4	消防団員数	人	168 (168)	↗	162	↘	157	↘
5	＊＊＊	5	訓練・講習会実施数	回/年	45 (40)	↗	168	↗	1	↘

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	6 事業	0 事業	4 事業	1 事業	1 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	6 事業	0 事業	3 事業	1 事業	2 事業	0 事業
前年度比	±0	±0	-1事業	±0	+1事業	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	防災対策課	防災・減災対策事業	A	地域防災力を向上させるため、防災行政無線などの通信網や、避難路等に係る整備など防災減災対策のハード面に関する事項について取り組みます。	城山中継局舎の改修、源水地区避難路舗装のほか、防災行政無線のメンテナンスを行いました。
2	防災対策課	自主防災組織の活性化による地域防災力向上事業	C	自主防災会幹部、防災サポーター等、地域防災力の中核を担う人物を育成することを目的に、講習会、講演会、訓練等の学習の場を充実させ、併せて次世代の地域防災の中核を担う人材の掘り起こしを行います。	【目標指標１・２・３・５】 ・自主防災連絡会２回 ・大槌学園ふるさと科講演２回 （７年生・９年生） ・大槌高校避難判断訓練講演１回
3	消防課	消防団強化事業	A	消防団員募集ポスターを作成し、町民全体に広報することで消防団員新規入団の促進を図ります。 消防団員の装備品（資機材・被服等）を整備することで、消防団活動への対応の迅速化及び団員の身体を保護することにより、消防団としての体制の強化を図ります。	【目標指標４】 団員数は減少しましたが、被服や装備品等については、計画的に更新することが出来ました。

第４章	安全性と快適性を高めるまちづくり	第２節(施策)	良質な自然環境の保全と環境衛生の向上

施策の展望	温室効果ガスの低減など地球環境への負荷低減を図り、健康で安全な生活と豊かな生態系が確保された循環型社会の構築を目指します。 また、需要に的確に対応した斎場の整備を目指します。

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	地球温暖化対策の推進	1	1人１日あたりのごみの排出量	組織	690 (937)	↘	942	↗	926	↘
2	循環型社会形成の推進	2	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
3	斎場施設の整備と管理	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	4 事業	0 事業	3 事業	1 事業	0 事業	0 事業	事業数	4 事業	1 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	±0	+1事業	±0	-1事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	リサイクルセンター	３Ｒ推進事業	S	住民、事業者、行政が協働して、ごみ減量化と３Ｒの推進に取り組むとともにごみの適正処理に努めます。	町内の燃えるゴミ量（年間） 令和２年度：1,872 t/年 ［令和元年度：1,939 t/年］
2	リサイクルセンター	マテリアルリサイクル推進施設整備事業	A	リサイクルセンターを新設し、令和元年度より供用を開始するとともに、旧リサイクルセンター（旧清掃事業所）の解体を行い、令和２年度にはその跡地に保管貯蔵施設を建設することにより、３Ｒ推進に向けた施設が一体となって完成し、町のリサイクルの拠点施設となり、循環型社会の形成に寄与します。	旧リサイクルセンターの解体が完了しました。
3	町民課	斎場整備事業	A	既存の火葬場は、著しい老朽化により修繕費等の維持管理費が年々増加していることや、告別室や収骨室が狭いなど町民のニーズに十分に応えられていない状況にあることから、衛生的で人生最後のお別れの場としてふさわしい斎場を整備します。	火葬場の建設工事に着手しました。 （令和３年11月供用開始予定）

第４章	安全性と快適性を高めるまちづくり	第３節(施策)	快適な住環境の実現
施策の展望	人に優しく安全な住環境、犯罪･事故のない安心･安全なまち、都市部との情報格差のない快適な通信環境を目指します。 また、水道事業の経営改善と水の安定供給、水洗化率の向上を目指します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	良質な住環境の形成	1	町内の交通事故件数	件	0 (20)	↘	10	↘	0	↘
2	防犯・安全の推進	2	大槌町インターネット施設加入率	％	45 (38)	↗	41	↗	43	↗
3	新技術に対応する情報基盤の整備（略）	3	水道管耐震化率	％	32 (26)	↗	38	↗	39	↗
4	安全で安心な水道水の安定供給	4	下水道水洗化率	％	82 (68)	↗	83	↗	78	↗
5	水洗化の促進と効率的な汚水処理	5	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	13 事業	3 事業	6 事業	4 事業	0 事業	0 事業	事業数	10 事業	1 事業	6 事業	3 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	-3事業	-2事業	±0	-1事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度 実施概要
1	総務課	携帯電話等エリア整備事業	B	携帯電話等は日常の連絡手段として用いられていることはもちろんのことであるが、災害時など重要な連絡手段となります。また、今後見込まれるIoTの活用には不可欠な設備です。しかし、町内の居住地域において、携帯電話等の無線通信機器が利用できない地域が依然として存在している状況です。	携帯電話等のエリア外の世帯数 令和２年度 44世帯 （令和元年度 69世帯）
2	総務課	光ファイバー加入促進事業	B	大槌町ＩＲＵエリア(注)において光ファイバーインターネット回線を新規に引き込む際に生じる初期費用において、民間事業者が回線を敷設するエリアとの格差解消を図るため、初期費用の一部を町が負担します。（注）民間事業者が光ファイバーを敷設しておらず、町が光ファイバーを敷設し民間事業者に貸与することで光ファイバーインターネットサービスを提供している地域のことです。	【目標指標２】 令和２年度は36件の加入者があり、対象世帯の加入率は43％となりました。
3	上下水道課	水道未普及地区対策事業（飲料水）	A	水道未普及地域（上水道給水区域外）の住民が安定的に自家水を得るために井戸掘り、地下水汲み上げポンプの設置や沢水を貯めるタンク設置など自家水等の整備にかかる費用に対し、補助金を交付し、飲料水の確保を図るものです。	【目標指標３】 補助金交付実績：１件 （令和元年度１件 平成30年度７件）
4	上下水道課	浄化槽設置整備事業	A	公共下水道事業計画区域及び漁業集落排水処理事業計画区域を除いた町内全域、また、公共下水道による管渠施設整備が当分の間見込まれない公共下水道計画区域内（事業計画区域外）の住宅等を対象として、浄化槽設置の費用の一部を助成するものです。 浄化槽の設置を推進し、町民の生活環境水準の向上を図ることにより、河川及び海岸保全施設等、水環境の保全を図ります。	【目標指標４】 浄化槽設置基数：５件 （令和元年度６件 平成30年度４件）

第４章	安全性と快適性を高めるまちづくり	第４節(施策)	利便性の高い交通ネットワークの整備
施策の展望	安全かつ災害に強い道路の整備･維持管理に取組むとともに、復興後のまちの形に合わせた利便性と機能性の高い交通ネットワークの確立を目指します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）									
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度		
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	道路環境の適正な維持管理	1	道路舗装率	%	44 (43.2)	↗	46	↗	53.3	↗	
2	道路交通網の充実	2	大槌駅乗車人数	人/日	238 235	↗	124	↘	69.1	↘	
3	公共交通網の充実	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度						令和2年度					
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。・合計点９点以下
事業数	8 事業	2 事業	3 事業	3 事業	0 事業	0 事業	事業数	6 事業	0 事業	3 事業	3 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	-2事業	-2事業	±0	±0	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	地域整備課	道路メンテナンス事業ほか	A	橋梁の定期点検（法定点検）及び補修を行うものです。	【目標指標１】改修対象橋梁数12橋
2	地域整備課	社会資本整備総合交付金事業（復興枠）ほか	B	町道の新設及び改良を行うものです。	【目標指標１】改良対象路線数４路線
3	地域整備課	町道交付金事業【D-1】	A	復興交付金事業による道路整備を行うものです。	【目標指標１】赤浜北側幹線道路を整備しました。
4	企画財政課	大槌町民バス運行事業	B	地域の公共交通ニーズを把握し、関係機関との協議を行いながら、住宅再建に合わせた形で路線バスを運行します。また、公共交通の実態調査や住宅、公共施設や商業施設等の地理情報の分析を基に、持続可能な公共交通体系を確立します。	【目標指標２】駅へのアクセスを考慮した町民バスのダイヤ改正を行いました。

第５章	将来を見据えた持続可能なまちづくり	第１節(施策)	協働による地域・まちづくりの推進
施策の展望	復興後の新しいまちづくりや少子高齢化･人口減少の進展に対応し、コミュニティの活性化やUIターン者の受入等を通じて、人や地域の結びつきの中で、町民が支えあって暮らすことができる地域･まちを目指します。 また、男女が互いに尊重しながら、夢の実現に向けてチャレンジできるまちを目指します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	地域づくり団体の形成・活動支援	1	自治会・町内会等の組織数	団体	28 (21)	↗	22	↗	28	↗
2	ＵＩターンの促進	2	ＵＩターン総合相談窓口を活用した移住者数	人	30 （6）	↗	288	↗	11	↗
3	広報・広聴の推進	3	地方自治法に基づく審議会等の女性比率	%	24 (18)	↗	25	↗	25	↗
4	男女共同参画社旗の推進	4	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性（5点）②有効性（5点）③効率性（5点）の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	9　事業	0　事業	9　事業	0　事業	0　事業	0　事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	8　事業	0　事業	6　事業	2　事業	0　事業	0　事業
前年度比	-1事業	±0	-3事業	+2事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	協働地域づくり推進課	協働地域づくり推進事業	A	協働による地域・まちづくりの取組方針となる「大槌町協働地域づくり推進指針」を策定し、住民・団体との話し合いを通じて地域運営の方策を検討し、各般の取組を継続的に実施します。	【目標指標１】 住民・団体との話し合いを通じて「大槌町協働地域づくり推進指針」を策定しました。
2	協働地域づくり推進課	コミュニティ形成支援事業	A	地域コーディネーターの配置、地域コミュニティ活動推進助成金及び心の復興事業補助金の交付、コミュニティ協議会の開催により、地域課題解決を支援するものです。	地域コーディネーターを11名配置して、地域の困りごと解決を支援したほか、地域づくり団体の情報共有・意見交換の機会として「コミュニティ協議会」を開催しました。
3	協働地域づくり推進課	コミュニティ助成事業	A	所要の備品整備や活動経費への補助を通じ、コミュニティ活動の一層の活性化を図ろうとするもので、主に自治会町内会等のコミュニティ活動や活動に必要な備品整備に対する補助金を交付するものです。	補助金交付件数２件 交付実績額4,100千円
4	協働地域づくり推進課	ふるさとづくり協働推進事業	A	多様な主体によるコミュニティ活動を支援し、町民と行政との協働によるふるさとづくり活動を推進しようとするもので、自治会町内会等による地域づくり事業や従来の行政サービスを代替して実施する事業に補助金を交付します。	補助金交付件数４件 交付実績額391千円
5	産業振興課	おおつち移住・定住推進事業	B	当町への移住・定住促進を図るため、「暮らしの場」「しごとの場」としての魅力向上を図るほか、交流・関係人口に向けた情報発信やUIターン者の受入環境の充実を推進します。	【目標指標２】 UIターン総合相談窓口を利用した転入者数：11人

第５章	将来を見据えた持続可能なまちづくり	第２節(施策)	健全な財政運営の推進
施策の展望	事務事業の効率化や税金の収納率維持、財産の適正管理を実現し、財政の健全化に努めます。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	行財政運営の効率化	1	財政健全化判断比率の実質公債費率	%	15 (9.9)	↘	10.7	↗	12.2	↗
2	公有財産の適正な管理	2	地方税の収納率	%	97.8 (97.8)	↗	98.8	↗	96.4	↘
3	自主財源の確保	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14〜1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11〜13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８〜10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５〜７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14〜1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11〜13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８〜10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５〜７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	4 事業	1 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業	事業数	4 事業	1 事業	2 事業	1 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	±0	±0	-1事業	+1事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	企画財政課	ふるさと納税特産品贈呈事業	A	大槌町の復興や特産品のPRを促進させるため、寄附をいただいた町外の方に特産品を贈呈します。	寄附受入実績 平成26年度　474件　51,361千円 平成27年度　1,134件　68,612千円 平成28年度　4,617件　100,882千円 平成29年度　5,633件　122,176千円 平成30年度　7,182件　141,613千円 令和元年度　8,059件　153,634千円 令和２年度　9,941件　200,220千円

第５章	将来を見据えた持続可能なまちづくり	第３節(施策)	成果を重視した行政運営の構築
施策の展望	行政組織の目標を実現するために、周囲と協調しながら自ら考え行動する職員を育成します。 また、情報システムの効率的な活用と業務改善を推進し、効率的かつ効果的な行政運営、住民サービスの質の向上を目指します。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	成果を重視した行政運営の促進	1	職員研修の実施回数	団体	7 （3）	↗	4	↗	0	↘
2	人材育成の推進	2	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
3	ＩＣＴの活用による業務の効率化	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
4	広域行政の推進	4	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性（5点）②有効性（5点）③効率性（5点）の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	5 事業	1 事業	1 事業	3 事業	0 事業	0 事業	事業数	2 事業	0 事業	1 事業	1 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	-3事業	-1事業	±0	-2事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	総務課	職員能力開発研修事業 【釜石・大槌定住自立圏連携事業】	B	各階層毎に必要とされる能力の強化を行うため、職員研修を実施するものであり、令和２年度において「人材育成基本方針」の作成を進めている。また、復興事業が落ち着いてきたことから、県や他団体との人事交流を通して人材の育成に努めます。	【目標指標１】 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送りました。
2	総務課	庁内情報基盤整備事業	A	住民サービスに不可欠な庁内の情報システムを適正に維持し運用する。法制度の変更にともなうシステム改修やサイバーセキュリティ対策のため必要な対策を行う。また、システム更新時期ににあわせて新たな情報技術を検討し事務効率の向上を図ります。	システム停止等のトラブルも無く、安定した情報サービスを提供できました。

第６章	未来につなげる着実な復興まちづくり	第１節(施策)	事業者の本設再建と産業の再生

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
		項目		単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	被災事業者の本設再建に向けた支援	1	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
2	復興に向けた雇用対策の充実	2	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14~1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11~13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	5 事業	1 事業	4 事業	0 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14~1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11~13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	1 事業	0 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業
前年度比	-4事業	-1事業	-3事業	±0	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	地域整備課	安渡地区津波復興拠点整備事業	A	災害危険区域の土地の一部を産業用地として整備することで企業の再建や新規立地を促進し、産業の再生・雇用の促進を図った。 また、高台部には、平時の地域交流の場として、災害時には地域防災の拠点として機能する施設を整備した。	平成31年3月8日に都市計画変更(第3回変更)及び事業計画変更(第3回変更)を行いました。 事業面積　約19.9ha 　特定業務施設地区　約18.6ha 　公益的施設地区　　約1.3ha 事業費　約48.2億円

第６章	未来につなげる着実な復興まちづくり	第２節(施策)	支え合い誰もが暮らし続けられる地域社会づくり
施策の展望	被災者の生活再建支援や地域コミュニティの再生を図りながら、住民が互いに支え合い、生きがいと希望を持って、生き生きと暮らせる地域社会を目指して取組を進めていきます。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）									
			項目	単位	目標値　()…基準値		令和元年度		令和2年度		
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	仮設住宅から復興市街地への移行支援	1	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	
2	被災者の生活再建支援	2	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	
3	復興市街地におけるコミュニティの再生	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	

評価の状況※①必要性（5点）②有効性（5点）③効率性（5点）の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度							令和2年度						
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	15　事業	3　事業	8　事業	4　事業	0　事業	0　事業	事業数	8　事業	1　事業	6　事業	1　事業	0　事業	0　事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	前年度比	-7事業	-2事業	-2事業	-3事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	健康福祉課	東北地方太平洋沖地震災害弔慰金支給事業	S	東日本大震災により死亡、行方不明となった方の遺族に対し弔慰金を支給します。 生計維持者500万、その他250万	交付実績額5,000千円
2	健康福祉課	災害障害見舞金支給事業	A	災害による負傷、疾病で精神または身体に著しい障害が生じた場合の見舞金を支給します。 生計維持者（250万円） その他（125万円）	交付実績額0円
3	健康福祉課	被災住宅債務利子補給事業	A	被災した住宅の新築、増改築または改修、既往住宅の債務の利子を補給し、被災者の住宅再建を支援しようとするものです。	交付実績額152千円
4	健康福祉課	被災住宅補修等補助金支給事業	A	被災者が被災住宅を補修・耐震改修する際に係る経費に対して補助し、被災者の住宅再建を支援しようとするものです。	交付実績額900千円
5	健康福祉課	被災宅地復旧補助金支給事業	B	被災宅地の法面保護工事、排水施設設置工事、地盤補強及び整地工事、擁壁の設置及び補強工事に係る経費に対して補助し、被災者の住宅再建を支援しようとするものです。	交付実績額0円
6	健康福祉課	岩手県生活再建住宅支援事業	A	被災者が住宅を新築する際にバリアフリー対応や県産材を使用した場合にかかる経費に対して補助し、被災者の住宅再建を支援しようとするものです。	交付実績額26,200千円
7	健康福祉課	岩手県被災者住宅再建支援事業	A	東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため被災者が町内に新築、購入に要する経費に対し交付します。 複数世帯100万、単身世帯75万 県補助2/3	交付実績額37,000千円
8	健康福祉課	大槌町被災者独自支援事業	A	東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため被災者が町内に新築、購入に要する経費に対し交付。建物1棟230万、利子補給300万限度、中古住宅50万、制度適用外の被災した方の引越に伴う費用経費(10万限度)に対し交付するものです。	交付実績額122,918千円

第６章	未来につなげる着実な復興まちづくり	第３節(施策)	未来の大槌人の育成／文化の再生と知の継承
施策の展望	震災で失われた社会教育環境の再生、こころとからだを支える活動環境づくりによる「将来を担う大槌人の育成」と、津波災害の記憶や教訓を活かした「文化の再生と知の継承」を目指して取組を進めていきます。		

主な取り組み		目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
			項目	単位	目標値 ()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	被災した地域施設の再生と多目的な活用	1	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
2	防災文化を継承し自然・文化を再生する町民活動の展開（略）	2	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
3	子どもたちが安心して学べる環境づくり	3	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	4 事業	0 事業	4 事業	0 事業	0 事業	0 事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	3 事業	0 事業	2 事業	1 事業	0 事業	0 事業
前年度比	-1事業	±0	-2事業	+1事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	生涯学習課	郷土財活用湧水エリア整備事業	A	防災集団移転事業により買収した移転元地の有効活用を図るとともに、鎮魂の森と隣接した区域に古くから生活資源として活用されてきた湧水や貴重種イトヨに象徴される多様性に富んだ自然環境に配慮したエリアとして整備します。	整備面積　1.45ha
2	生涯学習課	運動施設整備事業	A	集移転元に整備された既設の仮設グラウンドを活用することで仮設設備と移転元地の有効活用を図るとともに、公式競技が可能な野球場及びサッカー場として整備します。	進捗率　100％
3	総務課	忘れない３.１１事業	B	東日本大震災津波により亡くなった方々を追悼するため、議員や各町内の委員会等の長、一般町民の方々へご案内し、式を開催しているものです。	追悼式、一般献花参列者　368人

第６章	未来につなげる着実な復興まちづくり	第４節(施策)	魅力ある持続可能なまちづくり／地域資源としての風景の再生
施策の展望	誰もが暮らしやすい復興市街地の環境を備え、産業再生の基礎となる地域資源の再生を目指して取組を進めていきます。		

主な取り組み		目標指標　(各年度の方向は、基準値と比較したもの)								
		項目		単位	目標値　()…基準値		令和元年度		令和2年度	
					数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	減災・情報伝達・避難・救援活動に配慮した復興市街地づくり	1	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊
2	災害への耐性、環境への配慮、長期的維持管理の視点を導入した社会基盤・公共施設に整備	2	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。

前年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	3　事業	1　事業	2　事業	0　事業	0　事業	0　事業
前年度比	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

令和2年度

評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点８～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点５～７点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点９点以下
事業数	3　事業	0　事業	1　事業	2　事業	0　事業	0　事業
前年度比	±0	-1事業	-1事業	+2事業	±0	±0

主要な事務事業

No.	所属名	事業名称	令和2年度評価	事業概要	令和２年度　実施概要
1	総務課	情報通信基盤災害復旧事業	A	平成20年に策定した地域情報化計画に基づき、町内のテレビ難視聴地域及びブロードバンドゼロ地域を解消するため整備した情報通信基盤設備が東日本大震災で被災し流失したことから、平成23年度から情報通信基盤災害復旧事業を実施し、設備を復旧しているところです。また、高台移転等により、光ファイバー網の設計変更・幹線追加や各戸への引込工事が必要であり、復旧と認められる場合は本事業で実施します。	柾内地区幹線整備 引込設備の設置　11件
2	健康福祉課 企画財政課	区画整理地内住宅建設支援金事業	B	区画整理地内に新築、購入に要する経費に対し交付します。世帯100万。	補助金交付件数　11件
3	健康福祉課 企画財政課	区画整理地内用地取得補助金事業	B	区画整理事業区域内の空き地を解消し、町及び各地区の中心市街地の活性化を図ります。世帯100万。	補助金交付件数　4件